第十一講『宇津保物語』

次の文章は、女のもとで一夜を過ごした翌朝、男が立ち去ろうとしている場面である。男には自分を大事に思う親がおり、一晩留守にしたことを大変心配しているだろうと考えている。これを読んで、後の問いに答えなさい。

深き契りを、夜ひと夜、心のゆく限りし明かしたまふも、逢ひがたからむことを、今よりいみじうかなしう思さるるほどに、明かくなれば、（1）さてもあるまじう、思しさわぐらむといみじければ、「なほ、いかがすべき。今日ばかりは、なほかうてもと思へど、同じところにてだに、片時（2）お前ならぬところには据ゑたまはず。（3）あからさまの御供にも、はづしたまはず。昨日心地のあしく覚えしかば、参るまじかりしを、せちにのたまひしかば。（4）そもかうここに参り来べかりければこそと、今なむ思ひ知らるる。さらに心にては夢にてもおろかなるまじけれど、参り来むことのわりなかるべきこと」とのたまへば、女、（ア）

秋風の吹くをも嘆く浅茅生（あさぢふ）にいまはと枯れむをりをこそ思へ

とほのかにいへば、二方（ふたしへ）にいとほしく、あはれなることを思ひ入りて、

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「葉末こそ秋をも知ら［X］根を深みそれ道芝のいつか忘れむ

イあが仏、(5)おろかなるにな思しそ。(6)さりともかくてやむべきにもあらず。ただつつましきほどばかりぞ」とのたまひて、起き出でたまふに、(7)なほいみじうかなしう思さるれば、単衣の袖を顔におしあてて、(8)とばかり泣き入りて、かくのたまふ。

宿思ふわが出づるだにあるものを涙さへなどとまらざるらむ

とのたまへば、女、うち泣きて、

ウ見る人も名残ありげもみえぬ世を何としのぶる涙なるらむ

といふさまも、いと心苦しけれど、エ殿のこともいとほしければ、かへすがへす契りおきて出でたまふに、(9)殿のうちをだに人あまたしてこそ歩きたまへ、ただひとところ帰りたまふに、いづれの道とも知りたまはぬうちに、オあはれなる人を見捨てつるに、(10)あれか人にもあらぬ心地して、見めぐらして辻に立ちたまへり。

（『うつほ物語』による）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部（1）（3）（5）（8）（9）（10）の現代語訳として最も適当なものをそれぞれ一つずつ選べ。

（1）さてもあるまじう
1　今後も女をかわいそうに思い
2　いつまでも女のところにいられず
3　まだまだ女とともにいるべきなのに
4　再び女と逢うことが困難だと思い
5　夜明けまではいられそうにないので

（3）あからさまの
1　ひっそりとした　　2　はっきりとした　　3　めったにない
4　はなやかな　　5　ちょっとした

（5）おろかなるにな思しそ
1　私をいい加減なものと思ってくださいますな
2　私はあなたのことを軽くは考えていません
3　ご自分を粗末になさってはいけません
4　二人の将来を真剣に考えましょうよ
5　あなたは私のことを薄情な男とお思いなのですか

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(8) とばかり

1　大声で　　2　しばらくの間　　3　形だけ
4　人目を避けて　　5　しみじみと

(9) 殿のうちをだに人あまたしてこそ歩きたまへ

1　屋敷の中でさえ人を大勢連れてお歩きになるので
2　屋敷の中までも人を大勢連れてお歩きになれば
3　せめて屋敷の中だけでも人を大勢連れてお歩きにならなければ
4　屋敷の中でさえ人を大勢連れてお歩きになるのに
5　せめて屋敷の中だけでも人を大勢連れてお歩きください

(10) あれか人にもあらぬ心地

1　茫然自失の心境　　2　傍若無人の心境　　3　泰然自若の心境
4　独立自尊の心境　　5　荒唐無稽の心境

問二　傍線部（2）「お前」とは誰の前か。次の1〜5が示す人物の中から一つ選べ。

1　ア「女」　　2　イ「あが仏」　　3　ウ「見る人」
4　エ「殿」　　5　オ「あはれなる人」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　傍線部（4）「そもかうここに参り来べかりければこそと、今なむ思ひ知らるる」とは、どういうことか。最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

1　昨日親が無理やり自分を連れ出したのは、実はあなたとお会いする運命によるものだったのだと、今わかりました。
2　昨日自分が親のもとを抜け出してきたのは、あなたにお会いするためだったのだと、おわかりいただけましたか。
3　昨日親が自分を家から追い出したのは、実はあなたに会わせたかったからだと、おわかりいただけましたか。
4　昨日親に対して気分がすぐれないと嘘をついたのは、実はあなたのところに忍んで来るためだったのだと、今わかりました。
5　昨日親のところに出かけていったが、本当はあなたのところに来るべきだったと、今わかりました。

問四　傍線部（6）「さりともかくてやむべきにもあらず」を、「さりとも」の内容を明らかにしながら、三十五字程度で現代語訳しなさい。

問五　傍線部（7）「なほいみじうかなしう思さるれば」から読み取れる心情として、最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

1　後悔　　2　懐疑　　3　未練　　4　同情　　5　嫉妬

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　空欄［X］に入れるのに最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

1　め　　2　ね　　3　ず　　4　れ　　5　す

問七　『うつほ物語』は平安時代の作品である。平安時代の作品を次の中から一つ選べ。

1　曽根崎心中　　2　風姿花伝　　3　古事記　　4　和漢朗詠集　　5　十六夜日記

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十一講　復習問題

①「あからさまに」の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　むなしく　イ　あらわに　ウ　こっそり
エ　あちらこちら　オ　ほんのしばらく

②「おろかなる」とはどういう意味か。最適なものを次の中から選べ。

ア　不仲である　イ　愚かである　ウ　未熟である
エ　おろそかである　オ　馬鹿げている

③「あまた」の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　あたり一面に　イ　ところどころ　ウ　たまたま
エ　たくさん　オ　わずか

④「わりなくて」の意味として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　割り切れない思いで　イ　どうしようもなくつらくて
ウ　暮らすことができずに　エ　不平不満がたまって

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤　次の傍線部の意味として、最も適当なものを、後の中から選べ。

ただ女君一人にて、父大臣、とりわきかなしき者にしたまひて、内宮仕へなどおぼしいそぐ折もあれど、…

ア　いとしい人　　イ　美しい人　　ウ　かわいそうな人

エ　つまらない人　　オ　おもしろい人

⑥「そこらの年」の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　多くの年月　　イ　少しの年月　　ウ　ある程度の年月

エ　一定期間　　オ　幼少の折

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十一講　模範解答

問一　(1) 2　(3) 5　(5) 1　(8) 2　(9) 4　(10) 1

問二　4

問三　1

問四　たとえ別れたとしても、このまま二人の仲が終わってしまうはずはありません。(三十六字)

問五　3

問六　1

問七　4

〔現代語訳〕

深い夫婦の契りを、夜通し、思う存分交わして朝を迎えなさるにつけても、(今後再び)会うことがむずかしいことを、今からひどく悲しく思われるうちにも、夜も明けてくるので、いつまでも女のところにいられず、(今頃親が)心配してお騒ぎになっているだろうとひどく気になるので、「やはり、どうしたらよいだろうか。今日一日だけは、やはりこうして(一緒に)いたいと思うが、(親は)同じ家にいてさえ、少しの間もご自分から離れた場所には(私を)お置きにならない。ちょっとしたお供にも、(私を)はずしなさらない。昨日は気分が悪く感じたので、お供をしないつもりだったが、(父が)どうしても(供をせよと)おっしゃるので(仕方なく参りました)。それもこうしてここに参上してあなたとお会いする運命があってのことと、今わかりました。心の中では夢の中でも(あなたを)おろそかにはまったく思ってないが、お伺いすることは無理なことであろう」とおっしゃると、女君は、

秋風の……＝秋風が吹く音を聞いても嘆かれるこの浅茅の生えた野が、今はもうこれまでと枯れてしまう時のことを思うと
心配でたまりません。

とかすかに口ずさむと、(男は)一方では親のことが気の毒であり、また一方ではこの女君のことがしみじみといとおしく、両

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

方のことで思い悩んで、

「葉末こそ……＝葉末こそ秋風によって秋を知るでしょうが、その根が深いように二人の契りも深いのですから、あなたの所へ来る道をいつ忘れることがありましょうか、いいえ、ありません。

私の大切な人よ、私をいい加減なものと思ってくださいますな。たとえ別れたとしてもこのまま二人の仲が終わってしまうはずはありません。ただ（親に）遠慮していなければならない間だけ（のことですよ）」とおっしゃって、起きて（女の家を）出られたが、やはりひどく悲しく思われるので、単衣の袖を顔に押しあてて、しばらくの間泣いてから、このようにおっしゃる。

宿思ふ……＝この荒れはてた宿に住むあなたを思いながら私が出ることさえ悲しいのに、そのうえ涙まで流れ出て、どうして止まらないのでしょうか。

とおっしゃると、女は、泣いて、

見る人も……＝契りを結んだあなたも名残惜しそうにも見えない仲ですのに、どうして恋い慕う涙が流れるのでしょうか。

という様子も、まことに気の毒であるけれど、父のことも気の毒なので、何度も約束をして出て行きなさるが、屋敷の中でさえ人を大勢連れてお歩きになるのに、たった一人で帰りなさるので、どの道を行けばよいのかお分かりにならないうちに、愛しい人を見捨てたので、茫然自失の心境になって、（あたりを）見回しながら道の辻に立ちなさっていた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔重要単語〕

○ちぎり【契り】…①前世からの**約束**。②**因縁**。**男女・夫婦の縁**。

○かなし【愛し】…①**かわいい**。**いとしい**。②すばらしい。

【悲し・哀し】…①かわいそうだ。心が痛む。②ひどい。

○あからさまなり…①急に。②**ちょっと**。

○せちなり【切なり】…①**ひたすらである**。②すばらしい。③大切である。

○おろかなり【疎かなり・愚かなり】…①**おろそかだ**。**いいかげんだ**。②それでは言い尽くせない。③未熟だ。

○わりなし…①**道理に合わない**。**無理だ**。②苦しい。③**しかたがない**。④殊のほかである。

○つつまし【慎まし】…①**遠慮される**。②恥ずかしい。

○あまた【数多】…①**たくさん**。②非常に。

○あれかにもあらず【吾かにも非ず】…**茫然自失の状態**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十一講　解答解説

〔解説〕

① 「あからさまなり」は重要単語で、「ちょっと・ほんのしばらく」の意味。よって、正解はオ。

② 「おろかなり」は重要単語で、「おろそかだ・いいかげんだ」の意味。よって、正解はエ。

③ 「あまた」は重要単語で、「たくさん」の意味。よって、正解はエ。

④ 「わりなし」は重要単語で、「道理に合わない・しかたがない（どうしようもない）」の意味。よって、正解はイ。

⑤ 「かなし」は重要単語で、「いとしい」の意味。「悲しい」の意味もあるが、入試問題になっていれば、まず「いとしい」の意味から考えること。傍線部の前後が「女の子が一人だけなので、父親がとりわけかなしき者として、宮仕えさせよう」となるので、やはり「いとしい」が適切。よって、正解はア。

⑥ 「そこら」は「あまた」と同義語。「ここら」も同じである。よって、正解はア。

〔解答〕

①　オ　②　エ　③　エ　④　イ　⑤　ア　⑥　ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。